

2026 バスで巡る「福山市内戦争遺跡巡り」

～ 平和を次世代につなぐために～

《無料バスツアー参加者募集》

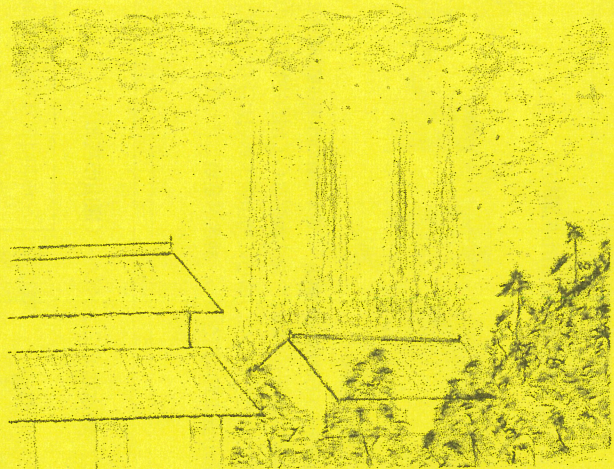
戦後81年が経過し、戦争を知らない世代が増えています。

福山市人権平和資料館では、風化しつつある戦争（空襲）の悲惨さや、平和の尊さ、命の大切さを伝えるため、2026 バスで巡る「福山市内戦争遺跡巡り」を計画しました。

平和の大切さについて、一緒に学びませんか。

貸し切りバスで移動（※雨天決行）

- 日 時 2026年（令和8年）10月11日（日曜日） 午前9時00分～12時00分
- 行 程 9:00 人権平和資料館（集合） *9:20（出発）
- ① 福山軍用水道跡…（車中案内）
 - ② 福山護国神社跡（草戸町）
 - ③ 陸軍病院門柱…（車中案内）
 - ④ 陸軍歩兵第四十一聯隊福山兵営跡（緑町）
 - ⑤ 福山陸軍病院跡（花園町）
 - ⑥ パラ公園（花園町）
 - ⑦ 福山公園噴水池モニュメント（霞町）
 - ⑧ 福山市戦災死没者慰霊の像（霞町）
 - ⑨ 福山聯隊区司令部・憲兵隊跡（昭和町）
 - ⑩ 大念寺（寺町）
 - ⑪ 光善寺（東町）



落下する焼夷弾

交通事情等により、行程を変更する場合があります。

12:00 人権平和資料館（到着予定）

■参加対象 平和学習に関心のある方、子ども（小学生までは、保護者の同伴）

■定員 30人（※先着順）

■申し込み 参加者の名前、住所、電話番号を明記し、福山市人権平和資料館宛にメール

(jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp)、

もしくは電話（084-924-6789）ファクス（084-924-6850）で申込をしてください。

■参加費 無料

■申込期限 10月8日（木曜日） *必着

■持物及び服装 飲み物・運動のできる服装

■問合せ先 福山市人権平和資料館 Tel084-924-6789

■中止連絡 気象警報等で中止の場合は、当日朝7:00に人権平和資料館ホームページにて

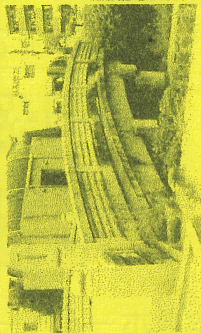
中止連絡を掲載します。

メールQRコード



～戦争遺跡巡りの主な場所～

② 福山護国神社跡（福山市草戸町）

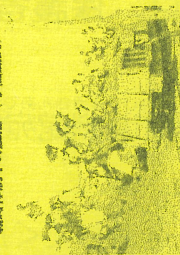


神橋

造成にあたる中學生

昭和15年以降多くの事柄によって本殿建設が進められました。市内の中學生も学徒動員で多くの生徒が造成にかり出されました。ところが、昭和20年の福山空襲で完成間近の本殿は焼失しました。現在残っているのは、参道にかかっていた「神橋」です。よく見ると中央にへこんだところがありますが、これが空襲の跡だと言われています。

戦時体制下の生活（学徒動員）



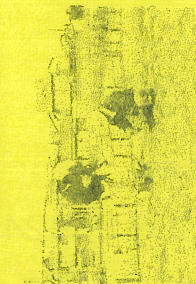
③ 陸軍病院跡（福山市花園町）



跡地を印す石碑(農協会館内)

陸軍病院の門(現在福山医療センター)
陸軍歩兵四十一聯隊の衛戍病院として創設され多くの戦傷病者の治療にあたりました。のちに福山陸軍病院となりました。
福山空襲で本館を残し、病舎は全焼しました。

⑥ パラ公園（福山市花園町）



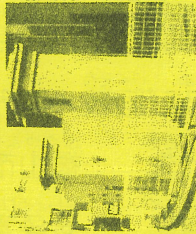
市民がバラを植え始める

1945年の福山空襲により、市街地の約8割が焼け野原となりました。「戦災で荒廃した街に潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう」と1956年、南公園(現在のバラ公園)付近の市民がバラの苗約1000本を植えたのが「バラの町福山」の始まりです。1965年に現在の姿になり「バラ公園」と呼ばれるようになります。また、福山41聯隊万宝山慰霊碑の台座が移設されている



かつての万宝山慰霊碑

⑨ 福山聯隊区司令部・福山憲兵隊分隊跡（福山市昭和町）



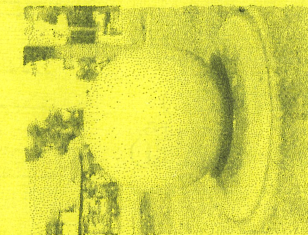
憲兵隊門柱

憲兵隊前を中国戦線へ出征する兵士

福山聯隊区司令部は、聯隊区内における兵士の徴収、召集、在郷軍人の服役、在郷将校団、及び在郷軍人会に関する事務にあたりました。
○憲兵隊
(1881年(明治14年)に設置され、軍人の違法取り締まりや国内の治安維持を任務とする軍事警察でした。



⑦ 噴水池モニュメント（福山市霞町）



昭和13年福山遊園地として開園し遊園地のシンボルとしてアール・デコ様式の噴水池が完成しました。その中心に据えられていたのがこの石の玉です。昭和20年8月8日の福山空襲では多くの住民が熱と炎から逃げるため、噴水池に飛び込み多くの命を救ったと言われています。

⑧ 福山市戦災死没者慰霊の像（福山市霞町）



8月8日22時25分、91機のB-29が襲来し、約1時間にわたり、556トンの焼夷弾を投下しました。市街焼失面積は、314ヘクタール(市街地の約80パーセント)に及び、355人の方がなくなり、重軽傷者は864人にのぼり、福山市始めて以来の大惨事となりました。

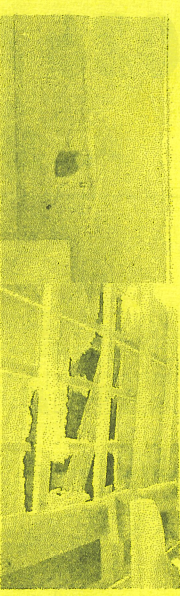
④ 陸軍歩兵第四十一聯隊跡（福山市緑町）



昭和10年頃の岩門

聯隊創設時は第五師団(広島)、1908年(明治41年)に福山転営時は、第17師団(岡山)に属しました。
第17師団→第65旅団→歩兵四十一聯隊(歩兵百四十一聯隊)

⑪ 焼夷弾の傷跡 光善寺（東町）



焼けた跡

焼夷弾の貫通跡

福山空襲で、油脂焼夷弾で焼けた庇(写真左)やエレベーター焼夷弾が突き抜けた跡(写真右)を、今なお残しています。空襲がいかにひどかったかを現在に語りかけています。